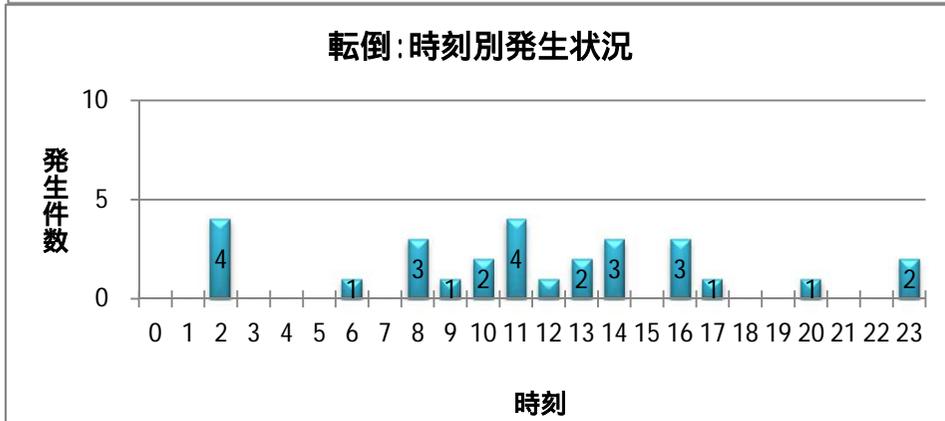
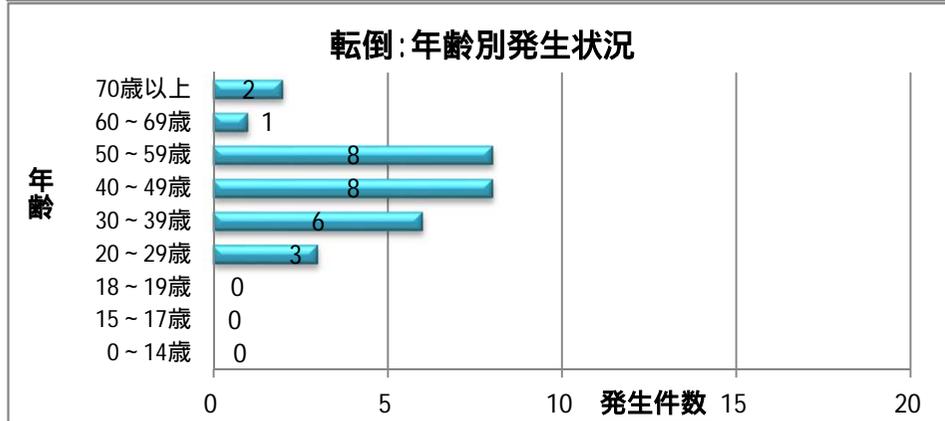
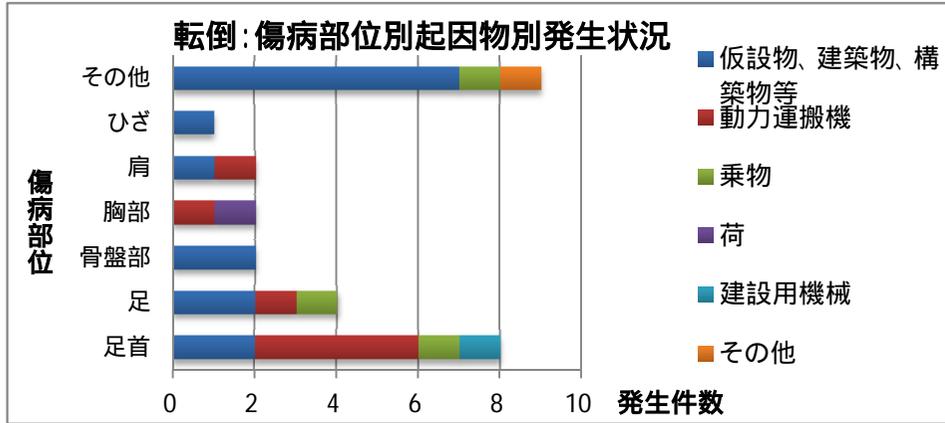


宮崎労働局：運輸交通業における転倒災害の状況



転倒災害事例(平成26年発生分)	
走って配送作業をしていた際、雨で濡れていた草に足を滑らせて転倒し、足を骨折した。	
荷卸作業のため、運転席から降りた際、歩道の縁石の角に足が乗り、バランスを崩して転倒し、足首を骨折した。	
運転席から降りる際、地面の3～5cmの段差に気付かず、足をひねり転倒し、足首を捻挫した。	
雨に濡れた荷台の上で、シートを掛けようと強く引っ張ったところ、足が滑り転倒し、肩を打撲した。	
事務室内で電話に対応しようとしたところ、足がもつれ転倒し、机の角で顔を打撲した。	
荷の積み込み作業中、パレットと荷の間に足が挟まり、バランスを崩して転倒し、肋骨を骨折した。	
荷を両腕で抱えて移動中、足がもつれて転倒し、膝を骨折した。	
客の忘れ物を届けようとして、客の家へ歩いて移動中、側溝に足を取られて転倒し、肩を捻挫した。	
ストレッチャーに客を乗せて玄関から車の方へ移動していたところ、段差で足を滑らせて転倒し、ストレッチャーの下敷きになり骨盤を骨折した。	
降車する際、ステップで足を滑らせて転倒し、足首の靭帯を断裂した。	
降車していた際、体半分が車の外に出た状態の時、運転者が発車してしまい、地面に転倒し、肩等を捻挫した。	